



第22回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。

前回のスゴイ人、奥野さんにご紹介いただいたこの方は、「月野地区の地域おこしをしていて、ご夫婦一緒に頑張っているスゴイ人」とのこと。インタビュアーは、平澤津あやでお届けします。

【今回のスゴイ人】

福岡機工
福岡 等志 さん



今回は、大隅町月野で農機具の販売・修理などを行う福岡等志さんにお話を伺いました。

福岡さんは、スポーツ推進委員として20年以上、市や校区内のスポーツ行事に携わっています。現在は「月野地域おこし会」を発足し、イルミネーションや鬼火焚きなどの地域イベント、通学路や文化財の草払いなど行っています。「地域おこしというのは、人を動かすこと」と話す福岡さん。鬼火焚きには地域の小学生など200人も人が集まるそう。

また、太田神社前にある水車や東屋をつくったのもこの会で、設計から木材加工まですべて手作り、費用も会員からの寄付で行ったとのこと。

「月野中が閉校して、支所も駐在所もなくなって。地域が寂しくなってきたので、何かしなければと仲間と始めました。メンバーには大工もいれば建設会社もいるので、やろう！と言ったら早いです」

その活動を陰で支えているのが、奥様方の存在。奥様達が集まると「男のロマンに付き合おう」と話しているそう。「実行するのは旦那さんたちで、私達はあくまで《お手伝い》。時間とお金を使って地域を元気にしたいと奮闘する旦那さんを尊敬しているの」と奥さんである文子さんも自慢げに語ってくれました。

福岡さん自身が本当に楽しんで地域おこしをしているからこそ『人を動かす』ことが出来るのだと思います。自分はそれが出来ているのだからかと考えるキツカケにもなり、先輩方の知恵をお借りしこれからも頑張ろうと思えました！



協力隊の活動報告

吉井淳二記念展、YOSHII ART MARCHE、そお市民決起会、サンドアートパフォーマンス、SAND ART MARCHE… 怒涛の日々が過ぎていきました。「いつもありがとう！一緒に地域を盛り上げよう！」と採算を度外視して協力してくださる方々に本当に助けられています。決起会では各地域で活動されている方が一同に介し、とても前向きな会となりました。詳細は8ページに♪

企画から実行まで関わらせていただいた事業も3月で一区切り。今までしていたことを変えたり、新しいことをするのは大変なことです。平成30年度はより楽しめるイベントをできたらと日々構想を練っています！あと1年半走り続けますので、これからも見守って、いやいや一緒に頑張っていきましょう!!!



2018年2月28日

平澤津あや